

ゼロスペック

自動発注管理システム「GONOW」

エンジンオイル配送に導入

IoT活用 タイミング見極め最適化

「GONOW」は、タンクに設置したIoTデバイスにより、エンジンオイルの量を自動計測。システム上で可視化し、一定量まで減ってから配送する仕組みを構築することで、配送を最適化。配送システムは統括支社の配送で実証実験を行い、総給油量が1・2倍になったため、道全域の配送に拡大された。

ゼロスペック（札幌市中央区、多田満朗社長）は2日、灯油の配送などで使われている自動発注配送管理システム「GONOW」が、トヨタモビリティパーツ北海道統括支社の道全域におけるエンジンオイル配送に導入されたと発表した。

従来のエンジンオイルケースも多く、1配送の配送は、定期的な当たりの給油量と配送巡回で行われていた。コストが課題となっていた。一方、エンジンオイルの残量に余裕がある



エンジンオイルの貯蔵タンクにキャップ兼センサーを設置。残量を自動計測しクラウドに送信している

